

編集・発行
西砂会館
管理運営委員会
委員長 渡辺 茂

立川市西砂町5-11-13
電話：042-531-0066

印刷：マスタ印刷
電話：0428-22-3047



西砂川伝統
手打ちうどん

去る五月十二日定期総会が無事終了、平成三十年度の活動がスタートしました。また、会館指定管理者として、行政と契約を行いました。

西砂会館は平成七年に創設し、本年設立二十四年を迎えました。会館運営の大きな課題は利用者数の拡大でありましたが、平成二十九年度の利用者数は前年比11.2%増の一万五千人を越え、昨年度末で累計利用者数が約三十二万人となりました。これは、地域の皆様、役員・運営委員、管理人ならびに行政の皆様のご協力があったること、心から感謝いたします。これから新

平成三十年度の活動方針

管理運営委員長

渡辺 茂

運営委員を迎え、「安全・安心」をモットーに会館運営を行い、利用者数の拡大を図ってゆきたいと思えます。

さて、平成三十年度の事業

平成30年度事業計画

月 日	事業名
5/6 (日)	茶摘み・お茶作り*
6/26 (火)	管外研修会
7/22 (日)	天王橋会館との交流会
8/5 (日)	ソーメン流し大会
9月	利用者懇談会・防災訓練
11月	手打ちうどん作り道場
1/6 (日)	まゆ玉飾り
1/20 (日)	初笑い親子手打ちうどん作り大会*
3/10 (日)	西砂会館まつり

注)

- ・西砂会館だよりは7月、1月に発行
- ・涼みの場は7月～9月に開設
- ・運営委員会は開催事業ごとに適宜開催

・*印は文化会共催

は別掲事業計画の通りであります。五月六日のお茶摘みお茶作りに始まり、来年三月十日の西砂会館まつりまでの、西砂川地区の伝統文化・事業を推進して参ります。

会館運営ならびに開催行事等の活動に対して地域の皆様方のご支援、ご協力を頂きますようお願いいたします。

『西砂会館まつり』
去る三月十一日（日）に毎年恒例の西砂会館まつりが盛大に行なわれました。



茶の向の*風土記

「基地に消えた町」 その1

昭和十二年三井系企業の出資により昭和飛行機工業株式会社が設立されました。

同社は設立趣旨に基き工場用地として西砂川の南当時の宮沢村・大神村・上川原村・田中村・拝島村に跨る場所に、南は青梅線・北は砂川村堺ま

での間約六十万坪もの広大な土地を買収取得しました。

旧地主には宮沢村（鈴木）大神村（志茂・中村） 拝島村（和田・秋山） 福生村（石川・田村） 井上・秋山・村野）など当時の大地主さんの名が見られます。

同社は米国ダグラス社と提携し、輸送機の製造ライセンスを取得して生産を開始すべく着々とその準備を進め、取

得用地には事務所や工場の建設、工場近辺には従業員住宅を新設し、また住宅営団からは一団地取得等により中神村・宮沢村・拝島村・福生村にそれぞれ百〜二百戸の住宅を取得して行きました。

なかでも西砂川南隣地に当る拝島村堀向（現・ゆらの里以北）には社宅約三百五十戸が造られ会社はこの地域に厚生施設として売店・銭湯を併設し、民間業者の八百屋（野菜・味噌・醤油・酒・その他を扱う）が出店し、更に当時は各戸訪問販売の物売りの人々が多数あり、食料を含む日用品の需要には充分対応出来ていた時代でもありました。この地域堀向（現美堀町）こそが、戦後大繁栄したのも束の間「基地に消えた町」なのです。以下次号になります。

笠井信吾 記

◇ 管外研修 ◇

去る六月二十六日（火）に西砂会館の管理運営委員会と利用者団体の研修を行ないました。

当日は朝からとても晴れていて初めに、日本最長の大吊橋を渡り、目の前に富士山のぞみスカイウォークを楽しみました。



三島スカイウォーク



世界遺産 富士山反射炉

予定通り無事に着きました。参加していただいた方々、お疲れ様でした。

お茶つき



訃報

宮崎光一さん(立川民俗の会)
西砂会館の発展ならびに
西砂川地区の文化活動に永
年ご尽力されましたこと
に対し、深く感謝するととも
に、ご冥福をお祈りいたし
ます。

お知らせ

コピー機の老朽化に伴い、
新しくカラーコピー機を導入
しました。有効にご利用
下さい。

利用料金

- モノクロ .. 5円/枚
- カラーA3 .. 20円/枚
- カラーA4 .. 10円/枚

西砂会館利用案内

「開館時間」
午前九時～午後十時
「利用申し込み受付日」
毎月一日と月・水・金の
午前九時～午後五時
(正午～午後一時を除く)
※印刷機も有料にて利用でき
ます。(使用受付時間内)
「休館日」
第二火曜日・第四木曜日
「お問い合わせ」
TEL FAX 五三一〇〇六六
☆会館内は禁煙です

◇編集後記◇

曇り空でも要注意

夏は海や山に出かける人も
多いと思いますが、自家用車
で出かける方は車内に日焼け
止め等のスプレー缶を置き忘
れないようにしましょう。夏
場の車内温度は非常に高くな
りスプレー缶が爆発して思わ
ぬ事故につながる恐れもあり
ます。